

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 インヴァスト証券株式会社

コード番号 8709 URL <http://www.invast.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川路 猛

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 坂本 純一

TEL 03-3595-0423

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,471	—	2,470	—	457	—	496	—	469	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,058百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76.34	75.12
25年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	99,896	—	12,010	—	12.0	
25年3月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,986百万円 25年3月期 —百万円

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行い、単元株式数を100株としておりますが、平成25年3月期の期末配当については、当該株式分割前の株式数を基準に実施しております。

なお、平成26年3月期の期末日における配当予想額は、現時点において未定です。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社の主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,411,400 株	25年3月期	6,411,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	336,000 株	25年3月期	145,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	6,152,489 株	25年3月期2Q	6,411,400 株

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期及び平成25年3月期の数値については記載しておりません。
2. 平成26年3月期の期末日における配当予想額は現時点において未定であり、今後の業績等を勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より海外子会社「Invast Financial Services Pty Ltd.」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。作成初年度にあたり、前年同四半期比及び前事業年度末比については記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスや円高修正などの効果が徐々に波及していることから回復に向けた動きが継続しています。

9月9日に発表になったわが国の4-6月期のGDP成長率は、年率換算で3.8%と一次速報値の2.6%から大幅に上方修正され、これまでの金融政策や経済対策の効果が数字として表れることとなりました。

内需では企業の投資マインドの改善を背景として設備投資が増加に転じ、個人消費は株価下落などを背景に勢いがやや鈍化したものの、先行きは雇用環境の改善などから堅調に推移することが予想されています。

一方、外需は対中国向けの輸出の回復が遅れているものの、NYダウが最高値を更新した米国向けの輸出が堅調となっており、円安効果により今後も回復感を強めることが期待されています。

外国為替市場は概ね、レンジ内の動きとなりました。ドル円相場は、7月は好調な米経済指標を背景としたドル買いにより100円を中心に推移したものの、8月中旬以降は軟調な日経平均やシリア情勢の緊迫化に伴い円の買い戻しが活発となり、一時95円台まで下落する場面もありました。9月に入ると、次期オリンピック開催地が東京に決まったことによる円売りや、米国の量的緩和策の一部解除の先送りを嫌気したドル売りなどにより乱高下する場面があったものの、当第2四半期はおおむね95円-100円のレンジ内の取引に終始しました。

株式市場は、当初、中国の景気減速懸念や円高を嫌気した売りに日経平均は13,200円台まで下落する場面もありましたが、東京でのオリンピックの決定や法人減税への思惑から終盤は14,800円台を回復する場面もありました。

このような経済状況のもとで、当社が平成23年11月よりサービスを開始したFX自動売買サービス「シストレ24」の総口座数は、平成25年4月に4万口座、8月には5万口座を突破いたしました。

5月から7月の3ヶ月間は、「FX24(裁量トレード)」と「シストレ24(FX自動売買サービス)」において、実際の資金を使ったリアルトレードコンテストである第3回「リアルトレード!24(に一よん)グランプリ」を開催し、多くのお客様にご参加いただきました。

こうして、当第2四半期連結累計期間の店頭FX「FX24」及び「シストレ24」によるトレーディング損益は、15億99百万円の利益となりました。

また、取引所FX「くりっく365」においても、市場が活況を呈し、当第2四半期連結累計期間の取引所FX取引の受取手数料は、8億17百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は24億71百万円となり、これから金融費用1百万円を差し引いた純営業収益は24億70百万円となりました。

なお、平成25年2月に設立した当社初の子会社であるオーストラリアの現地法人Invast Financial Services Pty Ltd.の決算日は12月31日となっているため、連結決算への数値の反映は発生から3ヶ月後となります。

同社は7月より事業を開始しておりますが、当第2四半期連結累計期間においては同社の2月(設立)から6月までの実績を反映しているため、営業収益等は計上されておらず、事業開始に向けた必要経費として販売費・一般管理費に51百万円を計上しております。

こうして、販売費・一般管理費は全体で20億13百万円、営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は4億57百万円、経常利益は4億96百万円、四半期純利益は4億69百万円となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

#### ① 受入手数料

当第2四半期連結累計期間の受入手数料の合計は8億65百万円となりました。

内訳は以下のとおりであります。

・委託手数料	42百万円
・取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	8億17百万円
・投資顧問料	2百万円
・その他の受入手数料	2百万円

② トレーディング損益

当第2四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、15億99百万円の利益となりました。  
これは店頭FX取引によるものであります。

③ 金融収支

当第2四半期連結累計期間における金融収益は、5百万円となりました。  
一方、金融費用は1百万円となり、これを差し引いた金融収支は4百万円となりました。  
当第2四半期連結累計期間での金融収支の主な発生要因は店頭CFD取引によるものであります。

④ 販売費・一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、20億13百万円となりました。  
主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	7億87百万円
・人件費	4億6百万円
・不動産関係費	5億65百万円
・事務費	16百万円
・減価償却費	1億85百万円
・租税公課	22百万円
・その他	28百万円

⑤ 営業外収益

当第2四半期連結累計期間においては43百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・受取配当金	32百万円
・その他	11百万円

⑥ 営業外費用

当第2四半期連結累計期間においては4百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・自己株式取得費用	1百万円
・為替差損	1百万円
・株式公開費用	0百万円
・その他	0百万円

⑦ 特別利益

当第2四半期連結累計期間においては24百万円の特別利益を計上しており、その主な内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	24百万円
----------------	-------

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は998億96百万円となりました。

このうち、流動資産は943億27百万円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金38億23百万円、預託金163億47百万円、短期差入保証金623億87百万円、外為取引未収入金115億31百万円であります。

また、固定資産は55億69百万円となりました。内訳は有形固定資産74百万円、無形固定資産9億51百万円、投資その他の資産45億43百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は878億85百万円となりました。

このうち、流動負債は863億27百万円となり、その主な内訳は受入保証金754億48百万円、外為取引未払金102億78百万円であります。また、固定負債の残高は15億9百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は120億10百万円となりました。

内訳としては株主資本93億84百万円、その他の包括利益累計額26億1百万円、新株予約権24百万円であります。この結果、自己資本比率は12.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、Invast Financial Services Pty Ltd.は、今後重要性が増すと考えられるため、連結の範囲に含めております。

また、Invast Financial Services Pty Ltd.の決算日は12月31日であります。

四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同社の四半期決算日の財務諸表(平成25年6月30日)を使用し、平成25年7月1日から四半期連結決算日平成25年9月30日までの期間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成25年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金・預金	3,823
預託金	16,347
顧客分別金信託	1,405
顧客区分管理信託	14,911
その他の預託金	31
トレーディング商品	0
短期差入保証金	62,387
外為取引未収入金	11,531
その他	237
流動資産計	94,327
固定資産	
有形固定資産	74
無形固定資産	951
投資その他の資産	4,543
固定資産計	5,569
資産合計	99,896
負債の部	
流動負債	
受入保証金	75,448
外為取引未払金	10,278
未払法人税等	58
役員賞与引当金	25
賞与引当金	50
その他	463
流動負債計	86,327
固定負債	
繰延税金負債	1,451
その他	57
固定負債計	1,509
特別法上の準備金	
金融商品取引責任準備金	48
特別法上の準備金計	48
負債合計	87,885

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成25年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,965
資本剰余金	2,809
利益剰余金	1,012
自己株式	△401
株主資本合計	9,384
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,620
為替換算調整勘定	△18
その他の包括利益累計額合計	2,601
新株予約権	24
純資産合計	12,010
負債・純資産合計	99,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	
受入手数料	865
委託手数料	42
取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	817
投資顧問料	2
その他の受入手数料	2
トレーディング損益	1,599
金融収益	5
その他の営業収益	0
営業収益計	2,471
金融費用	1
純営業収益	2,470
販売費・一般管理費	
取引関係費	787
人件費	406
不動産関係費	565
事務費	16
減価償却費	185
租税公課	22
その他	28
販売費・一般管理費計	2,013
営業利益	457
営業外収益	
受取配当金	32
その他	11
営業外収益計	43
営業外費用	
自己株式取得費用	1
為替差損	1
株式公開費用	0
その他	0
営業外費用計	4
経常利益	496
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	24
特別利益計	24
税金等調整前四半期純利益	520
法人税、住民税及び事業税	50
法人税等調整額	△0
法人税等合計	50
少数株主損益調整前四半期純利益	469
四半期純利益	469

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		606
為替換算調整勘定		△18
その他の包括利益合計		588
四半期包括利益		1,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		1,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年1月29日開催の取締役会決議及び平成25年5月10日開催の取締役会決議(取得枠の拡大決議)に基づき、自己株式190,900株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が246百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が401百万円となっております。

(重要な後発事象)

(子会社への増資及び資金貸付)

当社は、平成25年10月11日開催の取締役会において、以下のとおり海外子会社Invast Financial Services Pty Ltd. への増資を決議しました。

また、当社は平成25年6月7日開催の取締役会において、海外子会社Invast Financial Services Pty Ltd. へ極度額を10億円とした資金貸付を行うことを決議しておりますが、平成25年10月22日開催の取締役会において、極度額を20億円に増額することについて決議しました。

1. 増資及び資金貸付の目的、内容

- |        |            |
|--------|------------|
| ① 目的   | 財務体質強化のため  |
| ② 増資金額 | 146万豪ドル    |
| ③ 貸付金額 | 極度額20億円    |
| ④ 実施時期 | 平成25年10月以降 |

2. 子会社の概要

- |            |   |
|------------|---|
| ① 会社名      | Invast Financial Services Pty Ltd.          |
| ② 所在地      | Level 37, 1 Macquarie Place Sydney NSW 2000 |
| ③ 代表者の氏名   | Brendan Thomas Gunn                         |
| ④ 設立年月日    | 平成25年2月15日                                  |
| ⑤ 事業内容     | 外国為替証拠金取引(FX)を中心とするデリバティブ取引                 |
| ⑥ 資本金(増資前) | 300万豪ドル                                     |
| ⑦ 資本金(増資後) | 446万豪ドル                                     |
| ⑧ 出資割合     | 当社100%                                      |

3. 今後の業績に与える影響

当該増資及び資金貸付に伴う当連結会計年度の連結業績に与える影響は軽微であります。